

電波新聞

2024年度は工業数増が予想され、来期に向けても期待する。

（3力年）」の策定作 新規顧客開拓で2桁ま
業を進めている。加え で高めていきたい。

24年は中国、インド、台湾などの展示会に出

が、25年度にはどこかのタイミングで上昇し

（人工知能）関連で半えた初の「長期経
導体製造装置市場の成画」も策定中だ。

年4月に米国に販売強 人口も多く、「脱中国
化のための現地法人を化」で中国からの工場

車載は、直近では欧
米の新車販売低迷やE

が、生成AI関連以外の「コネクタメーカ」には中国・珠海市（広
の半導体製造装置はまーとして、世界に貢献（東省）に子会社を設立

の波に乗っていく。
分野別製品展開で

での価格競争激化など
のネガティブな情報が

顧客開拓

ど海外事業を継続強化

き続き開発を強化する。光通信用製品の試

Sや自動運転の高度化で搭載部品点数が増加

だまだ在庫が多い。そできる企業になる。」にし、新たな生産拠点開

は、OBCの試作を進

HEVは今後の生産台

体製造装置市場の力強い回復が見込まれる。

強化する。24年度上期の海外売上比率は中国の地産地消要求に対応したもので、25年4月以

合E C U用コネクタ
やH E V用コネクタ



春日 社長

期で成長を期待する。

だ半分以上を国内が占 拡販活動を継続する。

外観AI検査機を1台

「第6次中期経営計画」ほどにとどまるため、的に出展する。

もさらに増設する。

顧客開拓^など海外事業を継続強化

ケル春日明社長

もさらに増設する。